

「個人」の結集，効果的な林道維持修繕と地域へのPR

市浦営林署 ○ 基幹作業職員 竹谷 博
基幹作業職員 古川 広志
森 林 官 安 保 静 雄

1 課題を取上げた背景ですが

市浦営林署の管轄する国有林は10,817haで，市浦村，小泊村の2村に分布し総面積に対する国有林比率は市浦村で52%，小泊村で77%となっており，両村における地域振興のうえで深い関わりを持っていることから，市浦営林署の役割として，

- 1 国民生活に欠かせない木材を長期的，持続的に供給すること。
- 2 国土を守り，水を供給し，緑豊かな環境を保全し，保健休養の場にするなど，森林の公益的機能を十分に発揮すること。
- 3 農山村に住む人々の生活の向上を図り，地域振興の発展に寄与すること。

の3点を掲げ，国民共通の財産である国有林野を適切に管理，経営している。

管内の国有林内の林道は23路線で，市浦・小泊村民が自然と共生するために欠かせないものとなっており，特に市浦村，小泊村は津軽半島の日本海側に位置し，国道339号線が両村の海側を縦断しているものの津軽半島を横断する道路である市浦村は相内川林道，小泊村は増泊林道が災害時等におけるバイパス的性格を持つ重要な路線となっている。

以上のように地域振興，防災上及び地域住民生活と密接につながっている国有林内の林道の維持修繕をより効率的に実行するために当署で実行している方策と林道利用者に対するサービスとPRを兼ねて林道名標示板を作成し設置した内容について発表致します。

2 林道維持修繕をより効率的にするための1方策

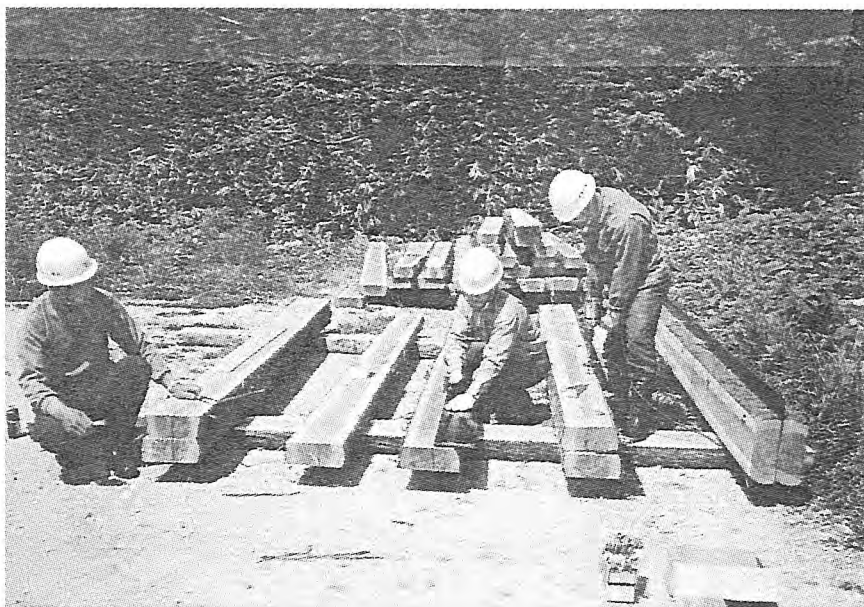
(1) 取り組みの背景

林道の維持修繕をすべて請負施工とすることは、経費の関係から実行数量が少なくなるので、直営労務と建設機械のチャーターを組合せることにより維持修繕箇所、延長をより多く施工できる方法にした。

- (2) 「直営・チャーター組合せ」と「請負による維持修繕」との経費・箇所数・延長等の単純比較では、「直営・チャーター組合せ」がおおよそ 70% の経費であり、延長をより多く施工できた。

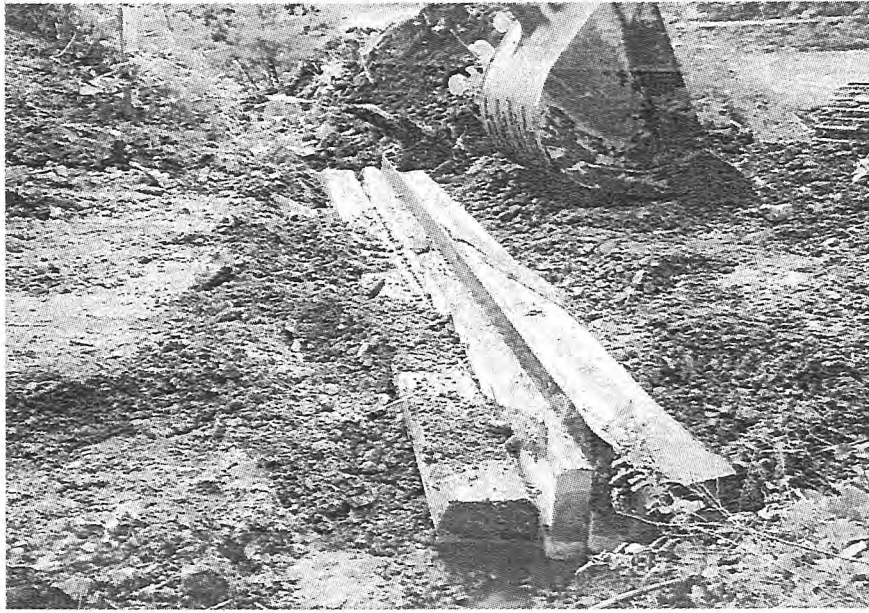
スギの間伐材を利用した簡易横断排水工 ・ コルゲートパイプU字溝の設置状況をスライドで説明します。

1 — 1



簡易横断排水工を作成中です。

1 - 2



簡易横断排水工の設置中です。

1 - 3



簡易横断排水工の設置完成後で、路面を流れた水は、ゴム板により路面から排水されます。



路面を流れた水は、ゴム板により路肩に排水されます。

1 - 5



車両通行状況です。

1 - 5

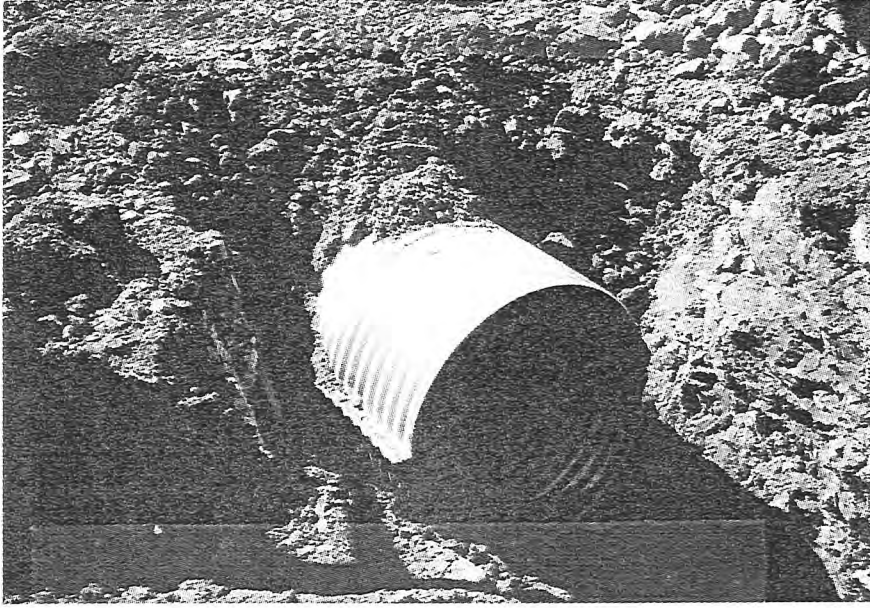


車両通行後はゴム板は立ち上がり，水を止めることとなります。

1 - 7



車両通行後の状況です。

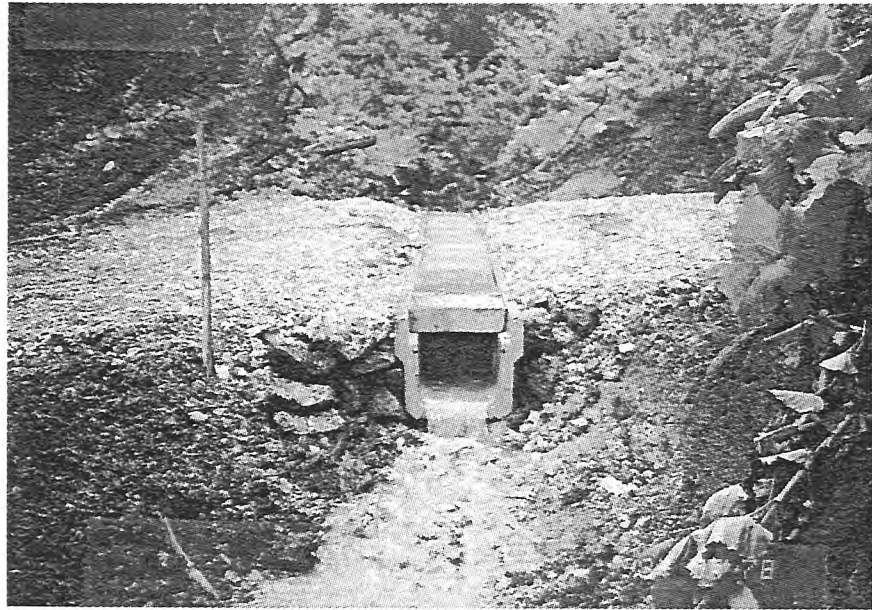


コルゲートパイプの設置状況です。

1 - 9



コルゲートパイプの設置完成です。



U字溝の設置完成で，チャーターした機械力とみなのもので効率的に実行することができ，初めての工事であるが仕事に自信を持ちました。

次に

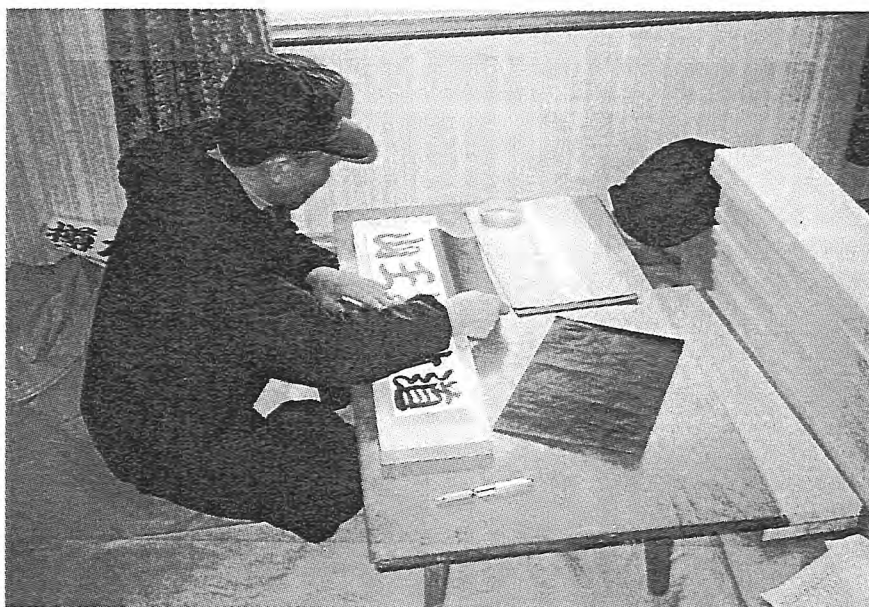
3 サービス・PRを兼ねた林道名表示板の作成について説明致します

- (1) 当署管内の国有林は北西の風をまともに受ける地形にあり、冬期は厳しい気候条件の下で作業を実行しているが、強風・暴風雪等の悪天候の日が多く、労働安全確保上からも外業ができない日もあり、労務の有効活用として林道名標示板を作成することとしたものです。

- (2) 作成の手順等をあらかじめきめ、一人一工程を担当することとした。

標示板作成・設置の状況をスライドで説明致します。

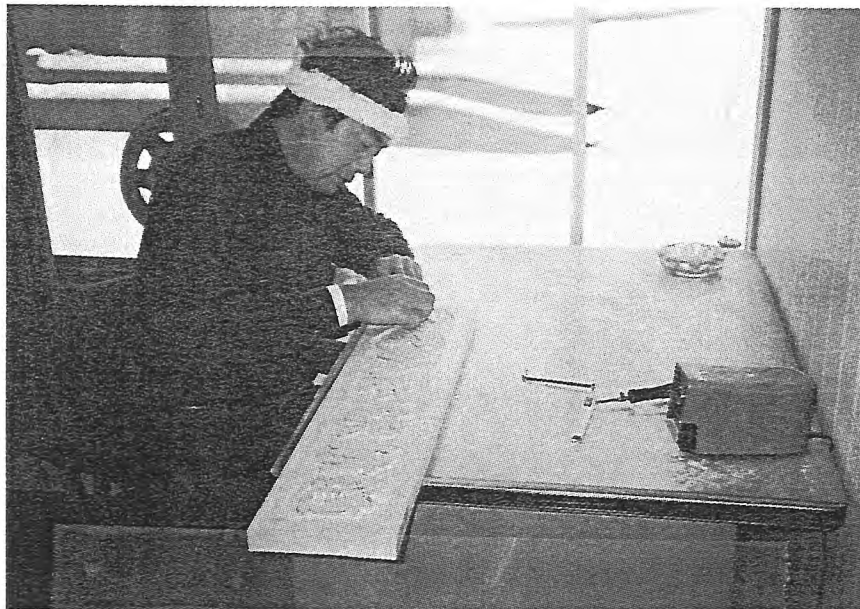
2 — 1



印刷した林道名をヒバ板に複写する工程です。



ヒバ板に複写された林道名をトリマーで、彫っている工程であり、全工程中一番神経集中が要求され、安全には特に注意を払い作業しました。



トリマーで彫られた林道名を彫刻刀などで、仕上げる工程です。

2 - 4



林道名表示板の色付け工程です。

2 - 5



完成した林道名表示板で 各森林事務所単位に色を変えました。

2 - 6



林道名標示板の支柱作成状況で、皮はぎ作業中です。

2 - 7



設置の支柱の準備作業で、土の中に入る部分に^にコータールを塗り、防腐効果を高めることとしました。



左が旧林道名標柱，中が村の案内標識で，他の標識などの比較です。



旧標識は、墓標がイメージされています。



(4) 設置後の効果について

景観にマッチしていることから、関係機関からは好評を得ていること、また地元住民からも見やすいことに加え、旧標識は墓標がイメージされたがこの標識は優しさ・柔らかさが感じられると好評である等の感想があり、国有林のPR効果が大きく発揮されている。

4 まとめとして

「直営・チャーター組合せ施工」の方法を進め、地域振興、防災上及び地域住民生活と密接につながっている国有林林道の維持修繕をより効率的に実行できたこと、林道利用者に対するサービスとPRを兼ねて林道名標示板を作成し設置したことの効果は大きいものがあったこと、また、冬期荒天時などにおける外業に比較し、労働安全を確保できたことを確信した。

なお、今冬期間においては「沢名標示板」を作成中であることを報告して発表を終わります。御静聴ありがとうございました。